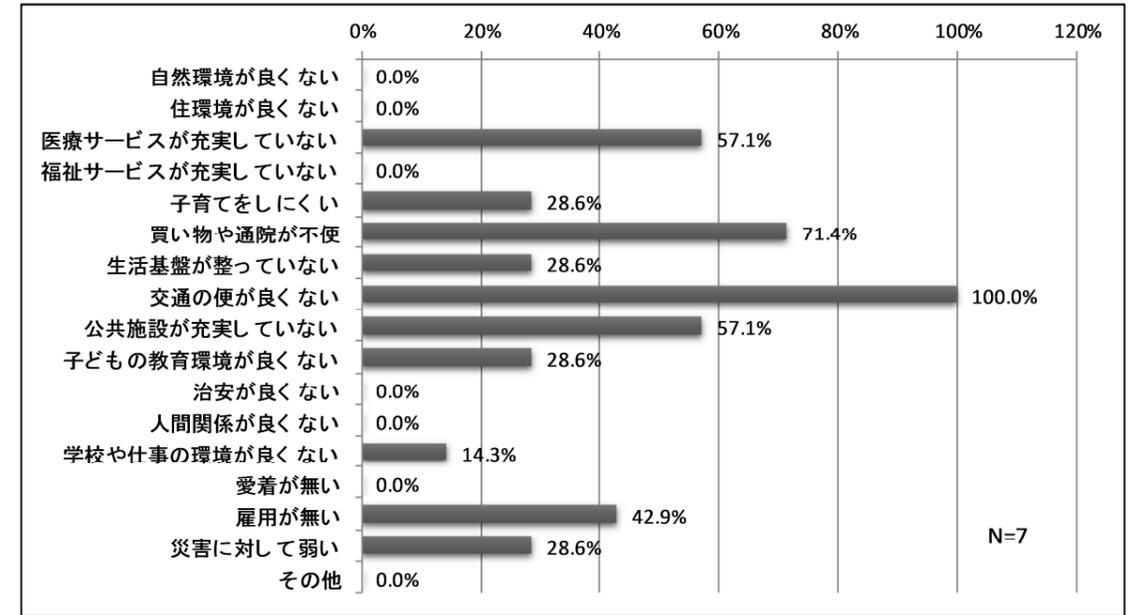
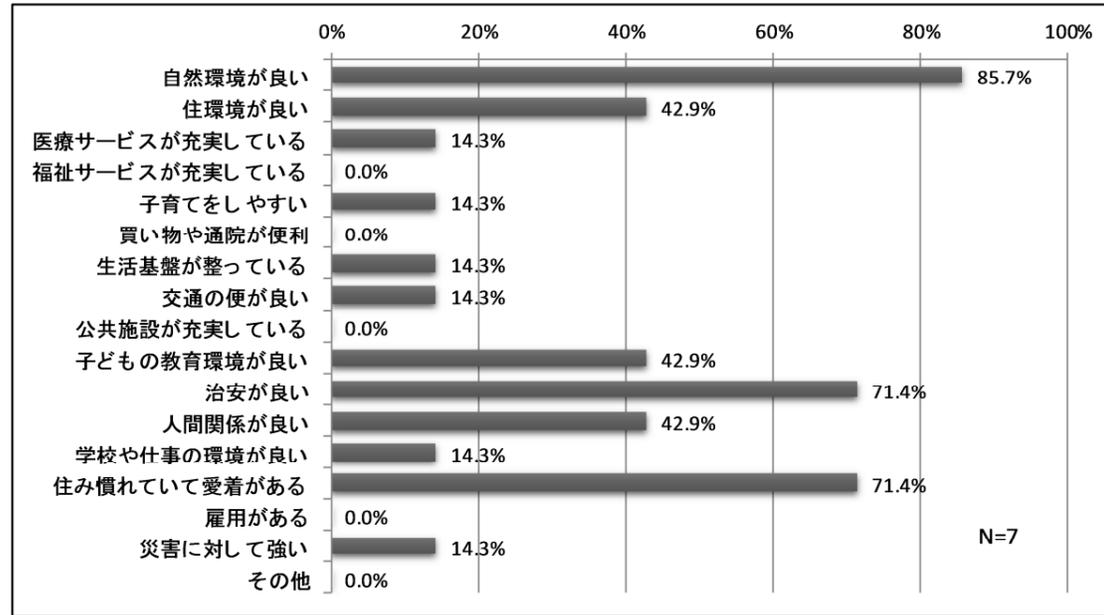


■ 三木みらい会議（細川地区）アンケート結果の概要（主な意見）

- 1 開催日時：平成31年1月17日（木）19時～21時
- 2 開催場所：細川町公民館
- 3 参加人数：22人（男性 15人、女性 7人）
※市3人、コンサル2人参加

年齢	20代	30代	40代	60代
人数	1人	16人	2人	3人

① 地域の良さ（複数回答） ② 地域の課題（複数回答）



③ 地域がどのようなまちになれば良いか ④ ③のようなまちになるために、地域で取り組むことが考えられるまちづくり活動 ⑤ その他自由意見

- 今よりも人が増えて、交通の便が良く、お店が近くにあり、学校に通いやすいまち
- 地元民が帰ってこられるまち
- 新しい人が入ってきやすいまち
- 近所の人を知っていて互いに守りあえるまち
- 子育てがしやすいまち（児童センター、吉川児童館などに行きやすければ、育児中のママとつながれる）
- 子どもたちに自信をもって大人になっても良い故郷だと言ってもらえるまち
- 子どもや高齢者が住みやすいまち
- 田舎の良さを生かし、若年層が市外へ流出しないまち

- 山田錦を使ったまちおこし 酒蔵、物品販売、カフェ、イベントスペース
- 関西国際大で農業サークルを作ってもらったり、授業で農業体験をしてもらったり、三木に来ている若い人と地域住民を結ぶ取組
- 農業を新たに始めやすくする。田舎暮らしの魅力を発信
- 防災計画をよりわかりやすくする。
- ファミサポの高齢者利用をすすめる。高齢者だけでは分からないことを説明する人が必要だと思う。
- 近所の人とつながりがあって、助け合って住んでいけるまちになるために、地域の行事に子どもも一緒に進んで参加する。
- 地域だけでできる事は少ないが、子どもに地域定住を促す事は、家庭でもできる。

- 三木がもっと活性化して、便利で住みやすい町になってほしい。子どもが増えて、地域の学校が残ってほしい。そんなことを考えると、「内向的な雰囲気のある三木の町」自体を変えていかないといけないなあ、という気持ちになります。
- もっと新しいものを求めたり、多様性を認めたり、人と人がつながる力をつけたり…教育現場や教育センターなどなどで取り組んでいただければと思います。
- 子どもにとっても高齢者にとっても住みやすい場所にしたい。若い人が戻ってくるためには、やはり地域に学校がないといけない。
- 自分は三木市出身ではないが、今自分の子どもに「あれが通っていた小学校で、この道を通っていた」と言うことはとても誇らしいし、安心する。子どもと高齢者の出会いも成長の中で必要だと思う。
- 親子三世代以上の大家族に優遇措置があれば若い単独世帯を引き留められるのではないかと。
- 車がなくてはどこにも行けない…では、この先不安だなと思ってしまいます。
- おいしい特産物もたくさんあるので、多くの人に知ってもらいたいと思います。
- もっと交通の便を考えてほしい。高齢者が増える中、バスや電車等の便数も少ないため、通院や買い物でさえ困る。